

地域医療構想の進め方について

1 推進体制

地域医療構想の実現のため、医療機関等の自主的な取り組みや行政と医療機関等が連携した取り組み等を行っていくため、各圏域において、医療関係者、医療保険者その他関係者からなる「地域医療構想調整会議」を設置し、地域医療構想の達成に必要な事項について、協議を行っている。

圏域の地域医療構想調整会議においては、年4回程度、各圏域の実情に応じて開催する。

【検討内容】

- ・病床機能報告や医療資源を踏まえた、2025年を見据えた医療機関としての役割分担
- ・2025年に持つべき、医療機関ごとの病床数（病床機能等）
- ・施策の進捗状況の確認、医療介護基金事業の検討

（参考1）地域医療構想調整会議の開催状況

調整会議の開催状況（H30.8.30まで）

区分	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	合計
H28	本会2 部会1		1	1	1	1	1	1		1	10
H29	本会1 部会7	2	2	3	2	2	2	4	2	2	29
H30	部会2	1	1	1		3	1	2	1	1	1

※H30以降統合した圏域においては、旧圏域単位会議を地域部会として開催

地域医療構想調整会議の主な議題

H28年度	地域医療構想調整会議の設置
H29年度	H28病床機能の報告、公立・公的2025プランの内容確認、 H29病床機能転換推進事業、H30医療介護推進基金事業の地域事業の議論
H30年度	2025プランの内容確認、H29病床機能の報告・分析 H30病床機能転換推進事業、H31医療介護推進基金事業の地域事業の議論

（参考2）地域医療構想調整会議のH30スケジュール例

区分	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
保健医療計画 (圏域版)	重点推進方策案、 準圏域の素案の 検討	圏域版の素案検討 病床機能転換推進事 業の審査	県圏域版 とりまとめ	
調整 会 議	病床機能 の分化 ・連携	公立・公的プラン の内容確認	H29病床機能報告 確認・分析(9月～) 不足病床機能の確認	民間医療機関を含めた 医療機関の役割確認等 (<u>病院アンケート実施後、議論</u>)
	基金事業		7～8月頃 H31 地域事 業の内容審査	圏域課題抽出 H30 基金進捗確認
	病床機能 転換推進		7～8月頃 H30 病床機能転換推進事 業の意見とりまとめ	医療機関の自主的な 取り組みの推進

※各圏域の必要に応じ、開催回数、検討内容は変更する。

2 病床機能報告（速報値）及び病院調査の実施予定

(1) 病床機能報告結果

不足する回復期については、H28 から約 800 床増加

病床機能	2017(H29)年度 病床機能報告 (稼働病床)	2025(H37)年 必要病床数 (床)	差引 正数: 過剰 △: 不足	2016(H28) (稼働病床)	H29と28の差 正数: 過剰 △: 不足
高度急性期	6,268	5,901	367	6,066	202
急性期	25,534	18,257	7,277	26,341	△ 807
回復期	6,991	16,532	△ 9,541	6,203	788
慢性期	13,873	11,765	2,108	13,906	△ 33
病床数計	52,666	52,455	211	52,516	150

構想区域毎の詳細は別紙のとおり（8月末時点分析）

(2) 病床機能報告の分析と病院調査の実施

今後、厚生労働省地域医療課長通知(平成 30 年 8 月 16 日)を踏まえた地域の実情に応じた定量的な基準を導入するため、医師会等関係団体とも協議を実施し、H29 病床機能報告を元に、他府県の先行事例も参考に分析の実施と、民間病院も含めた調査を実施していく。調査内容等は、県医師会シンクタンク(※)等で議論を行うとともに、関係団体と調整を行う。

※兵庫県医師会シンクタンク構成員：県医師会、病院協会、民間病院協会、大学、行政(部長、保健所長等)

3 地域医療構想調整会議の体制の充実・強化について

(1) 県単位の地域医療構想調整会議の設置

保健医療計画部会（地域医療構想推進委員会）において、県医師会に設置する「兵庫県医師会シンクタンク」や下記（2）の「地域医療構想懇話会」とも連携し、各圏域の地域医療構想調整会議の開催結果報告に基づき、各圏域の進捗状況の報告、評価を行い、その結果を還元することにより、各圏域の状況を情報共有できる体制を構築する。

(2) 地域医療構想懇話会の開催

地域医療構想の進め方について、県内関係者間の認識を共有するため、県医師会と連携し、厚生労働省が実施する研修会と同様のプログラムの実施する県主催の「地域医療構想懇話会」を開催する。

(対象者) 調整会議の議長、事務局、地域医療構想アドバイザー、構成員(医師会、病院代表者等)

(予定) アドバイザー研修会を踏まえて、開催時期（12月頃）を検討する。

(3) 地域医療構想アドバイザーの育成

厚生労働省が設置する「地域医療構想アドバイザー組織」に、兵庫県医師会シンクタンクでの協議を踏まえ、兵庫県から「地域医療構想アドバイザー」を推薦し、認定

今後、国研修を受講し、各地域医療構想調整会議にアドバイザーとして参加する。

氏名	所属	役職
小林 大介	神戸大学大学院医学研究科	特命准教授、医師会シンクタンクメンバー
安慶名 正樹	兵庫県医師会シンクタンク	医師会シンクタンクメンバー